

2009年度事業報告書

【 会員拡大委員会 】

基本方針

時代に即した、より強固な組織を構築するには、活発な新陳代謝が必要です。新しいメンバーを迎え入れることによる組織の活性化を、常に行っていかななくてはなりません。そのことがひいてはまちづくりであったり、地域の青年経済人の指導力強化につながる運動へと昇華します。

会員拡大委員会として、まずは、現在のメンバー1人ひとりに、会員拡大の意義の周知徹底を図り、会員拡大の必要性を認識してもらい、それぞれが拡大に取り組んでもらえるように啓発してまいります。我々が所属している団体の社会的、地域的意義を改めて認識する機会を作ります。そのことにより、組織強化の必要性をメンバー1人ひとりが認識して、会員拡大につながります。

また、会員拡大につながる情報をいただいた際には、素早い対応を心掛け入会希望の方に対しては、JCと触れ合う機会を作ります。

具体的には、JC活動を理解してもらうためにも、ほかの委員会と連動して活動に参加してもらえるように促します。現在の企業は、費用対効果を考えるので、JCに輩出する利点を理解してもらうために、JCの開発系の事業にも参加を促してまいります。基本的にJC活動で学んだことを、企業に持ち帰って実践できるんだと言う事を再認識する機会を、メンバー始め、一般からの参加者にも認識してもらえる機会を増やして参ります。すべからくJC活動を理解してもらう機会を増やします。

そして、JCの特別会員の先輩、及び特別会員以外でも協力的な先輩の所を全て回り、会員拡大につながる情報の収集に努めてまいります。入会を希望したメンバーには面接を受けていただき、会としても入会希望者の人物像を把握して、我々の組織がどういったものかを理解してもらいます。面接終了後、より分かりやすい仮入会セミナーを行います。JCという組織が具体的にどういった活動をしているのかを理解していただき、入会後もモチベーションが維持できるように配慮した仮入会セミナーを行います。会のメンバー情報を取りまとめ、情報を共有できるよう内容を精査したメンバーリストを作ります。メンバー100人以上を目指して頑張ります！

事業報告

●入会希望者の面接設営

開催日：毎月25日及び随時

開催場所：青森JC会館

参加員数：対外 27人／対内 41人

事業内容：面接を設営、並びに社団法人青森青年会議所定款第7条（1）に沿って資格・書類等の確認

事業目的の実現報告：入会希望者に対して、青年会議所活動及び運動を説明する場面を設営しました。当初予定していた面接日のほかに緊急での設営もありましたが、滞りなく遂行することが出来ました。

●仮入会員へのセミナー

開催日：毎月25日（面接終了後）、その他随時

開催場所：青森JC会館

参加員数：対外 21人／対内 18人

事業内容：活動内容の説明、質疑応答

事業目的の実現報告：面接終了後すみやかに仮入会セミナーを開催しました。前年度の活動内容を中心に青年会議所の活動をムービーで分かりやすく見てもらいました。ムービー終了後、パワーポイントを活用して分かりやすく仮入会者に対して説明しました。なるべく緊張感をほぐし、青年会議所の運動と活動を知っていただくことに努めました。

●会員拡大事業

開催日：通年

開催場所：青森青年会議所会館・入会希望者所属会社・その他

事業内容：100人以上目標キャンペーン

特別会員のところをすべて回る。各委員会にノルマとして20件回ってもらう。

特別会員以外でも情報があつた場合会員拡大情報カードを活用して些細な情報でも書き込みボックスに投函してもらう。

事業目的の実現報告：100人以上目標キャンペーンを謳いましたが、達成できませんでした。3月例会において会頭経験者の松本秀作先輩をお招きして講演を頂きました。メンバー一人ひとりの会員拡大に対するモチベーションを上げようと試みました。例会終了後はそれがなされていたと思いますが、時間の経過とともに薄れていき結果的には一部のメンバーでしか会員拡大はなされませんでした。特別会員に対するアプローチ不足も否めません。情報ボックスは機能しておりました。

●3月例会使用

開催日：3月16日

開催場所：青森JC会館

参加員数：対外 5人／対内 38人

事業内容：松本秀作先輩（平成14年度日本青年会議所第51代会頭）による講師例会。

「会員拡大について」と題して講演して頂きました。

事業目的の実現報告:02の日本青年会議所会頭である松本秀作先輩を講師としてお迎えし、「会員拡大について」というテーマで、深いお話を聞くことができました。先輩がJCを通して学んだことを、実際に自分の会社で実践されていることを聞き、自らも実践してみたいという気持ちになったメンバーも多いはずです。自らが所属している「青年会議所」という団体の活用法などを知ることと、会員拡大運動の重要性を参加したメンバー一人ひとりが認識できた講師講演でした。

【 総務委員会 】

基本方針

若手経済人を中心とする社団法人青森青年会議所メンバーが、青年会議所活動に多くの時間や労力を充てることは決して容易いことではありません。近年、会員減少によって個々のメンバーの負担が増加傾向にあり、組織運営にとっても大きな課題となっています。

メンバーの参画意識の向上に努めるとともに、効率性が高く、円滑な青年会議所活動を行うことができる環境を整備していくことが使命と考えます。

このため、事務局と連携しながら、組織運営上のモラル遵守や諸会議・委員会活動の効率化のための意識醸成を図るとともに、会議資料の電子化やメーリングリストの活用などの取組みを継続・拡充し、各委員会が効率的且つ円滑に、事業に取り組めるようサポートして参ります。

また、総会、例会等の会議設営が大きな役割としてありますが、総会は会の活動を定める重要な議案議決の場であり、厳粛に規律を保つとともに主体的に組織に参画している意識づけの機会と捉え設営にあたり、例会は青年会議所にかかるメンバーの思いを共有し、絆を確かめ合う月に一度の機会と捉え設営にあたります。その他監査、会計、議事録作成、HP管理など、会務にかかる庶務全般を担いますが、参画意識の向上と事務処理の効率化を念頭におきつつ、各委員会との意思疎通を十分に図り、全メンバーにとって頼もしいサポート役となるよう努め社団法人青森青年会議所の組織運営を支えて参りたいと考えます。

事業報告

●新年祝賀会 2009年度の活動を発信する事業

開催日：1月11日（日）

開催場所：ホテル青森

参加員数：対外 60人／対内 34人

事業内容：現役会員、特別会員、来賓が一堂に集まる場を設け、旧年度の活動に対する感謝を表し、併せて、新年度の体制や活動を披露し、参加者に対して理解と協力をお願いするとともに懇親を深めた。

事業目的の実現報告：来られるお客様をしっかりと持て成すことができるよう、事前準備、資料作りを進めるとともに、『真心』という事業テーマを設定し、新年祝賀会を実施しました。結果、対外的にも08年度の感謝と、09年度の活動や方向性を十分ご理解いただくことができましたし、対内的にもメンバーの思いが一つとなることにより、今年一年の青森青年会議所活動の弾みとなり、事業目的を実現できたものと考えます。

●2月通常総会の設営・議案作成

開催日：2月16日（月）

開催場所：（社）青森青年会議所会館

参加員数：対内 37人

事業内容：重要な議案議決の場であり、主体的に組織に参画している意識づけの機会とし、会のさらなる発展を目指すため総会の設営を行った。

事業目的の実現報告：100%出席（委任状含め）を目指し事業を遂行している旨を全メンバーにFAXで周知し、返信はがき未提出のメンバーには、出欠の確認とともに確実にハガキを提出するよう強くお願いすることで100%に近い出席率となりました。また、委員会報告を積極的に活用するよう依頼するとともに、時前準備や当日の進行については、厳粛で規律正しい総会となるよう心掛けることで事業目的を実現できたものと考えます。

●9月通常総会の設営・議案作成

開催日：9月25日（金）

開催場所：（社）青森青年会議所会館

参加員数：対内 40人

事業内容：重要な議案議決の場であり、主体的に組織に参画している意識づけの機会とし、会のさらなる発展を目指すため総会の設営を行った。

事業目的の実現報告：100%出席（委任状含め）を目指し、返信はがき未提出のメンバーには、出欠の確認とともに確実にハガキを提出するよう強くお願いしましたが、達成できませんでした。しかし、委員会報告が積極的に活用され、また、次年度理事長意見交換会での活発な意見、進行においても時前準備により、厳粛で規律正しい総会となるよう心掛けた結果、事業目的を実現できたものと考えます。

●11月臨時総会の設営・議案作成

開催日：11月24日（火）

開催場所：（社）青森青年会議所会館

参加員数：対内 26人

事業内容：重要な議案議決の場であり、主体的に組織に参画している意識づけの機会とし、会のさらなる発展を目指すため総会の設営を行った。

事業目的の実現報告：2009年度に公益社団法人特別室が設置され、公益社団法人移行にむけた活動がされてきたが、移行申請に伴い現行定款・諸規程を新制度に照らし合わせた内容として変更する必要があることから、総会の議決を経ることとなり、臨時総会設営に至りました。その結果、全会一致の議決を経ることができたことから事業目的を実現することができたものと考えます。

●12月通常総会の設営・議案作成

開催日：12月12日（土）

開催場所：八甲田丸

参加員数：対内 34人

事業内容：重要な議案議決の場であり、主体的に組織に参画している意識づけの機会とし、会のさらなる発展を目指すため総会の設営を行った。

事業目的の実現報告：100%出席（委任状含め）を目指し、返信はがき未提出のメンバーには、出欠の確認とともに確実にハガキを提出するよう強くお願いしましたが、達成できませんでした。しかし、委員会報告が積極的に活用され、進行においても時前準備により、厳粛で規律正しい総会となるよう心掛けた結果、事業目的を実現できたものと考えます。

●例会セレモニーの設営

開催日：各例会日（2月より実施）

開催場所：（社）青森青年会議所会館

事業内容：メンバーの思いを共有し、絆を確かめ合う月に一度の場と機会とし、会のさらなる発展を目指すため例会セレモニーの設営（3分間スピーチを含む）を行った。

事業目的の実現報告：例会出席率向上のため、一年を通して出欠確認を行うとともに、例会使用担当委員会や事務局と連携を図りながら、円滑な例会セレモニーとなるよう努めました。また、3分間スピーチ（3PSP）を継続実施することにより、メンバーの例会への参加意識を高めました。その結果、事業目的を実現できたものと考えます。

●会議の記録作成

開催日：各総会日、各理事会日（理事予定者会議より実施）

事業内容：会としての適正な運営を図るため、総会及び理事会における議事録を作成した。

事業目的の実現報告：総会及び理事会における議事録を作成することで、会としての適正な運営が図られたことから、事業目的を実現できたものと考えます。

●月次監査 一般会計の管理（事務局協働）適正な財務に資する事業

開催日：毎月25日頃、その他随時

開催場所：（社）青森青年会議所会館

事業内容：円滑な予算執行ならびに会計報告を実施するため、各委員会への事業予算作成への助言や会計監査の設営を行った。

事業目的の実現報告：各委員会への事業予算作成への助言や会計監査の設営を行うことで、円滑な予算執行ならびに会計報告の実施に繋がったことから、事業目的を実現できたものと考えます。

●ホームページの管理

開催日：通年

事業内容：会全体の情報を発信するため、ホームページの管理を行った。

事業目的の実現報告：青森JCブログの立上げやトップページのトピックス活用などの新たな取り組みにより、ホームページの積極的な活用に努めたことから、メンバーの意思疎通を図ると同時に、閲覧して頂く方々に（社）青森青年会議所の活動への理解を深めることに繋がり、事業目的を実現できたものと考えます。

●活動記録集「飛翔」の発行

開催日：2009年11月～2010年2月

事業内容：会全体の情報を記録・発信するため、活動記録集「飛翔」の発行を行った。作成部数500部

事業目的の実現報告：前年度の（社）青森青年会議所の基本資料や活動を記録するとともに、新年度の（社）青森青年会議所の活動に係る基本資料を掲載したものを配布することで、情報の共有を図り、事業対象者への理解を深め、更なる活動への弾みをつけることができることから、事業目的を実現できたものと考えます。

【 JCスクール 】

基本方針

JCは、様々な活動を通じて、多くの人々と出会い、そこで話し合い、協力し合い、また教を請う事で、自身の成長を促す人材育成の場と考えます。その事からJAYCEEとしての絆と信頼を育み、今後の活動に活力を生み出すものと考えます。今年度JCスクールでは、新人研修という本来の目的に交流を交え、塾生の資質向上を図って参ります。

そこで入会間もない塾生に対して、組織の一員としての意識付けと、効果的なJC活動が出来るよう、研修事業を実施して参ります。また積極的なJC活動が出来るよう、JCにある様々な活動への積極的参加は勿論の事、塾生自らが企画・運営を行う交流事業を実施して参ります。この事がJAYCEEとしての絆を育むものと考えます。また、塾生の個性や能力を最大限に活かした研修事業

を行う事、更には新たなる交流の輪を広げられるよう情報収集を行い、外部団体との交流事業を行う事で、故郷青森の地域活性化を目指して参ります。この事がJAYCEEとしての活力を生み出すものと考えます。更には一年を通じ、学び得た事を踏まえ、今後JAYCEEとしてどのように行動するのかを決意する事で、次代のJC運動へと繋げて参ります。

JAYCEEとしての資質、そして交流を通じた絆と信頼を育む事で、故郷青森の役に立つJAYCEEとなり、次代のJC運動に繋がる率先した能動者として『誇りある、選ばれるまち あおもり』へ向けた活動が出来るよう、一年間活動して参ります。

事業報告

●開校式・オープニングセミナー

開催日：2月28日

開催場所：青森クォーター

参加員数：対内 22人

事業内容：VMVセミナーを基調とした開校式の実施

事業目的の実現報告：一方的な説明に留めず、グループ討議やゲーム要素を取り入れ、実施しました。塾生から内容が難しいという感想を頂きましたが、今後の活動で気付きとして今回の内容が生きてくると感じております。

●わんぱく広場

開催日：5月5日

開催場所：AOMORI 春フェスティバル

参加員数：対外 556人／対内 45人

事業内容：棒パンの販売・りんごジャムの提供・焼きりんごの提供・りんごに関する情報提供

事業目的の実現報告：雹害にあった県産りんごを使い事業を行いました。当日アンケートを実施し、来場者から多くの意見を頂きました。その回答から事業内容は満足出来る物を提供する事が出来ました。また塾生にとっては初めての事業と言う事でしたが、成果をすぐ見る事が出来る内容であり、良い経験が出来たものと感じております。

●全体レクリエーション

開催日：8月29日

開催場所：津軽金山焼き窯業

参加員数：対外 22人／対内 16人

事業内容：塾生が主体性を持って企画運営し、資質と信頼を育む津軽金山焼き窯業でのレクリエーション事業

事業目的の実現報告：全てを塾生に委ねての事業実施で、当日の参加者数は思うようには行かなかったが、それまでの準備段階までを見ると当日参加が叶わなかった塾生もアイデアを出したり作業を手伝ったりと主体性を持った行動が見れた。この事が資質と信頼を育む事が出来たと感じております。

●東北青年フォーラムブース出展

開催日：9月12日

開催場所：野馬追祭場地

参加員数：対内 14人

事業内容：ミニねぶた展示・ねぶた囃子披露・ホタテ貝柱の配布・鈴リンゴの配布・青森情報冊子の配布

事業目的の実現報告：ねぶたを展示した事で写真撮影をする方もあり、その方に対して配布品を渡すなど交流を深めました。逆にねぶたが目立ち過ぎた為、食材が無いというイメージを持たれた。当日参加が叶わなかった塾生も事前準備で作業したり、一連の作業において活力を育む事は出来たと感じております。

●閉校式

開催日：11月16日

開催場所：青森JC会館

参加員数：対内 45人

事業内容：今年度スローガンに基づき、塾生が今年一年の活動で得た成果を事業検証並びに次年度へ向けた決意表明を実施。

事業目的の実現報告：塾生の総意のもと事業を進め、それぞれが役割を担い、準備を行いました。当日は塾生一丸となり、イレギュラーな場面がありながらも臨機応変に対応しました。メンバーの協力もあり、メンバーと塾生が更に交流出来たものと感じております。

【 ビジネス研究委員会 】

基本方針

「明るい豊かな社会を築き上げよう」という理想を綱領に掲げ、その実現に挑戦するかけがえのない仲間がJAYCEEです。われわれJAYCEE自らが明るくこの時代を楽しみ、より多くの仲間と喜びを分かち合い手を取り合って行動することでこの壮大な想いを実践して参ります。

我々社団法人青森青年会議所がまちづくりを考えると、多くの人々に誇れる「ものの探究・研究・発信」は大切な要素です。「あおもり」の自然がくれるたくさんの宝物、「あおもり」の

人々のこころ、「あおもり」の芸術と文化、この故郷は素晴らしい贈り物でいっぱいです。今年度、ビジネス研究委員会では、故郷の「もの」をビジネスという視点から探究し、更にそれを価値ある誇れる「もの」にすべく研究していきます。そして、ビジネスを「柔軟な発想」「人の繋がり」「地元密着」「持続可能性」といった切り口でとらえ、「あおもり」の「もの」に新たな付加価値を与え発信していきます。激しく変化する時代だからこそ、異業種の職業人が集まるJCの持つ知識とネットワークを主体的に活用することが期待されます。メンバーのみならず外部の方々からも協力を得ながら、あおもりの可能性を見つめ直し、その魅力を発信して参ります。

普通のものとして埋もれてしまった存在に新たな付加価値を与え、「もの」からビジネスへと広がりを持たせることで地域活性化の一助となるよう、また今年度の委員会活動がこの故郷に新たな光を与える第一歩となるよう、活発にJC活動を行って参ります。

事業報告

●あおもりの「もの」探求事業

開催日：1月～3月

開催場所：JC会館他

参加員数：対外 10人／対内 60人

事業内容：故郷あおもりの誇れる「もの」を知り、私たちが知らない「もの」に出会うことでビジネスへの可能性を探る。

事業目的の実現報告：青森にいてもこれまで触れることのなかった行政資料やデータベース等から知らなかった青森の魅力を知ることができた。青森の子どもの体格が良かったり、ラーメンやビールの消費量が高かったり意外な面もあった。その中から青森カシスの魅力と可能性を見出すことが出来た。

●あおもりの「もの」研究事業①

開催日：4月15日

開催場所：JC会館

参加員数：対外 2人／対内 42人

事業内容：あおもりの「もの」をより詳しく知り、故郷あおもりに活かすためにJCとして出来ることを研究するために例会を行う。

事業目的の実現報告：あおもりの「もの」をメンバーによりよく知ってもらおうと「あおもりカシスの会」の山内様を講師にお招きし例会使用を行った。メンバーを4チームに分け事前に課題を与えたことで、目的意識を持って講演に臨むことが出来た。漠然としていたカ시스への認識が、青森市における具体的な取り組みを知ることで故郷の誇れる「もの」であると理解するに至った。懇親会においても講師と活発な議論がなされ故郷を新たな視点から見つめるきっかけになった。

●あおもりの「もの」研究事業②

開催日：8月3日

開催場所：花のなかむら前

参加員数：対外 20人／対内 140人

事業内容：あおもりの「もの」に対しJCが関わることで故郷の役に立つビジネスとは何か具体的に検証する。一般市民、ねぶた観光客を対象にカシスを使ったビアカクテル／ジュースの試験販売を行う。

事業目的の実現報告：現実に「もの」を販売し、お客様の生の声を肌で感じる事が出来た。多くのメンバーにも協力して頂き、ほぼ目標数量を販売した。また、販売時のアンケートの回収率も高く、消費者の生の声を集めることにも成功した。アンケートの結果、商品に対する評価は高いものの認知度が低く特に市外県外の方々にはまだまだ浸透していないことが分かった。多方面からの絶大な協力により、ビジネスとしての実践検証という目的は実現できたと感じる。

●あおもりの「もの」をビジネスとして考える事業

開催日：10月14日

開催場所：JC会館

参加員数：対外 3人／対内 30人

事業内容：例会を実施し、これまでの活動成果を振り返り、あおも리카シスがビジネスの種として飛躍するためのさらなるブランド化戦略を、JCメンバー自らが考え、講師から新たなものを学ぶ。

事業目的の実現報告：やきそばのまち黒石会の渡辺会長より、つゆやきそばブレイクまでの軌跡を伺った。まさにJC世代の渡辺会長から大いに刺激をうける事が出来た。あおも리카シスがつゆ焼きそばに負けないほどの可能性を秘めていること、金もものもなくとも「もの」を使ったまちづくりはできることを痛感した。もっともっと熱い思いを故郷のために注ぐことが「もの」を育てる原動力であるとの思いを共有できた。

●あおもりの「もの」発信事業

開催日：12月

開催場所：青森市内外

参加員数：対外 5,000人／対内 60人

事業内容：あおも리카シスの魅力と可能性を広く県内外に認知して頂き、故郷を愛する一人一人、一軒一軒が広告塔となり故郷のブランドとして成長出来るよう情報を発信する。

事業目的の実現報告：これまで学んだ結果から、情報の発信先や情報の内容以上に、分かりやすい情報を幅広くどんどん発信することを第一と考え、より分かりやすくカシスをアピールするため、ちらしと缶バッジを作成した。カシスの会や市内飲食店のみならず、県外の青森県人会等

にも配布し、これまで以上にあおりカシスを広げる活動となった。県外のイベントなどでカシスを使いたいというコンタクトもあり、さらに青森カシスが成長するための種を蒔けたのではないかな。

【 青少年育成室 】

基本方針

「人を育む事業」としてキャリア教育事業とスポーツを通じた健全育成事業はこれまで行われてきました。キャリア教育事業は初めて関わり合いを持った生徒たちが中学を卒業し大人への1歩を踏み出し、スポーツを通じた健全育成事業では子ども達の新たな目標が芽生え始めました。この事業は1つの節目を迎えます。3年間の活動により一定の成果を得た経験の中で、子どもたちが職業観を持ち進路を考えることや、スポーツを安全・安心に行うには、我々大人の協力が必要であり、関わる人材の育成は必要不可欠なことです。その為には、室が一丸となりLOMに対ししっかり情報発信をし、関係諸団体や経験者との協力体制を築き上げ円滑に遂行できる体制を構築し、自立心を育む個性豊かな子ども達の役に立つ事業を行います。

そして、これまでの事業経過をアクションプラン55を基に検証して参ります。

キャリア教育事業

子どもたちは将来への職業観をしっかりと持ち未来への希望や進路を考える機会が必要です。社会に必要な人財として自立心も育んでもらい、地域の活性化に役立てるような大人になってもらいたい。そのために、将来を考える一助としてキャリア教育事業を展開します。

スポーツを通じた健全育成事業

成長著しい青少年へスポーツを通じ、心と身体を鍛える機会を提供します。そしてチームワークを養い信頼関係・周囲への尊敬と感謝、目標に向かって修練する気持ちや、目標にむかいやり遂げる達成感を体験してもらいます。

事業報告（キャリア教育事業）

●キャリア教育事業「夢発見ワークショップ」開催

開催日：7月7日

開催場所：三内中学校

参加員数：対外 318人／対内 31人

事業内容：青少年が職業観を持ち必要な人財として自立心も育んでもらう [キャリア教育] の手法を用いた夢発見ワークショップの開催事業

事業目的の実現報告：今年度最初の「夢発見ワークショップ」を1年生5クラス、2年生3クラス

に開催。

開催プログラム…すきなものビンゴ&お仕事マップ

●キャリア教育事業「夢発見ワークショップ」開催

開催日：7月15日

開催場所：荒川中学校

参加員数：対外 39人／対内 7人

事業内容：青少年が職業観を持ち必要な人財として自立心も育んでもらう [キャリア教育] の手法を用いた夢発見ワークショップの開催事業

事業目的の実現報告：1年生1クラスに開催。

開催プログラム…すきなものビンゴ&お仕事マップ

●キャリア教育事業「夢発見ワークショップ」開催

開催日：7月17日

開催場所：十和田市立大深内中学校

参加員数：対外 91人／対内 6人

事業内容：青少年が職業観を持ち必要な人財として自立心も育んでもらう [キャリア教育] の手法を用いた夢発見ワークショップの開催事業

事業目的の実現報告：全校生徒1年～3年生に開催。オブザーブ参加でPTA約40名参加

開催プログラム…すきなものビンゴ&お仕事マップ

●キャリア教育事業「夢発見ワークショップ」開催

開催日：8月28日

開催場所：東中学校

参加員数：対外 343人／対内 24人

事業内容：青少年が職業観を持ち必要な人財として自立心も育んでもらう [キャリア教育] の手法を用いた夢発見ワークショップの開催事業

事業目的の実現報告：全校生徒1年～3年生に開催。東中学校PTA12名がサブファシリテーターとして参加

開催プログラム…すきなものビンゴ&お仕事マップ

●キャリア教育事業「夢発見ワークショップ」開催

開催日：9月7日

開催場所：南中学校

参加員数：対外 261人／対内 30人

事業内容：青少年が職業観を持ち必要な人財として自立心も育んでもらう [キャリア教育] の

手法を用いた夢発見ワークショップの開催事業

事業目的の実現報告：3年生に開催。外部協力者16名がかっこいい大人役として協力。

開催プログラム…すきなものビンゴ&お仕事マップ

●キャリア教育事業「夢発見ワークショップ」開催

開催日：9月14日

開催場所：造道中学校

参加員数：対外 195人／対内 17人

事業内容：青少年が職業観を持ち必要な人財として自立心も育んでもらう [キャリア教育] の手法を用いた夢発見ワークショップの開催事業

事業目的の実現報告：1年生に開催。造道中学校PTA9名サブファシリテーターとして参加

開催プログラム…すきなものビンゴ&お仕事マップ

●キャリア教育事業「夢発見ワークショップ」開催

開催日：10月28日

開催場所：浦町中学校

参加員数：対外 260人

事業内容：青少年が職業観を持ち必要な人財として自立心も育んでもらう [キャリア教育] の手法を用いた夢発見ワークショップの開催事業

事業目的の実現報告：新型インフルエンザ発症により中止

●キャリア教育事業「夢発見ワークショップ」開催

開催日：11月17日

開催場所：外ヶ浜町立三厩中学校

参加員数：対外 51人／対内 6人

事業内容：青少年が職業観を持ち必要な人財として自立心も育んでもらう [キャリア教育] の手法を用いた夢発見ワークショップの開催事業

事業目的の実現報告：全校生徒1年～3年生に開催。青森県庁ひとづくり戦略チーム担当者オブザーブ参加

開催プログラム…すきなものビンゴ&お仕事マップ

事業報告（スポーツを通じた青少年健全育成事業）

●タグラグビー指導者講習会（人を育む実行委員会にて）

開催日：5月27日

開催場所：青森セントラルパーク

参加員数：対外 2人／対内 4人

事業内容: タグラグビーを通じ青少年に達成感を体験してもらい健全な青少年として成長する一助とする

事業目的の実現報告: 第1回講義

タグラグビーにおける基本的ルール

実技基本スキルのための練習

→個人スキルのための練習

●タグラグビー指導者講習会（人を育む実行委員会にて）

開催日: 6月27日

開催場所: 青森セントラルパーク

参加員数: 対外 2人／対内 5人

事業内容: タグラグビーを通じ青少年に達成感を体験してもらい健全な青少年として成長する一助とする

事業目的の実現報告: 第2回講義

試合実施に向けたルール

実技個人スキルのための練習

→ユニットスキルのための練習

●タグラグビー指導者講習会（人を育む実行委員会にて）

開催日: 7月4日

開催場所: 青森セントラルパーク

参加員数: 対外 2人／対内 7人

事業内容: タグラグビーを通じ青少年に達成感を体験してもらい健全な青少年として成長する一助とする

事業目的の実現報告: 第3回講義

公式試合への参加のための練習計画

実技ユニットスキルのための練習

●スポーツを通じた青少年健全育成事業 タグラグビー教室

開催日: 9月16日から10月20日まで

開催場所: 甲田小学校

参加員数: 対外 82人／対内 5人

事業内容: スポーツを通じ心身を鍛える中でチームワーク等を養い目標にむかい達成感を体験してもらうため

事業目的の実現報告: 6年生に体育授業にタグラグビー教室を開催。

10月17日3年生、PTA向け教室開催

部活動の一環で5・6年生に開催

●スポーツを通じた青少年健全育成事業 タグラグビー教室

開催日：10月13日から10月20日まで

開催場所：横内小学校

参加員数：対外 40人／対内 5人

事業内容：スポーツを通じ心身を鍛える中でチームワーク等を養い目標にむかい達成感を体験してもらうため

事業目的の実現報告：部活動の一環として5・6年生に開催

●スポーツを通じた青少年健全育成事業 タグラグビー教室

開催日：11月11日から11月18日まで

開催場所：幸畑小学校

参加員数：対外 64人／対内 5人

事業内容：スポーツを通じ心身を鍛える中でチームワーク等を養い目標にむかい達成感を体験してもらうため

事業目的の実現報告：3年生を対象に体育授業にタグラグビー教室を開催。

●スポーツを通じた青少年健全育成事業 タグラグビー交流会

開催日：11月3日

開催場所：青い森アリーナ

参加員数：対外 3校

事業内容：スポーツを通じ、心身を鍛える中でチームワークを養い、目標に向かいスポーツを行うという事業の目的の集大成として、青森市内小学校に対し、成果・交流会として「タグラグビーリーグ戦」を開催する。

今回の交流会ではタグラグビー（ラグビー）特有の健全な精神の持ち方、考え方を再度参加した青少年へお話いただき、その後にこれまで練習してきた成果を発揮するリーグ戦を行う

事業目的の実現報告：新型インフルエンザ発症により中止

【 ねぶた事業室 】

基本方針

社団法人青森青年会議所が昭和41年から青森ねぶた祭へ出陣を始め、今年で42回目の出陣となります。その間、青森ねぶた祭はまちに対し、経済的（宿泊や飲食等）にも社会的（都市のPRやイメージアップ等）にもたくさんの恩恵をもたらしてきました。

しかし、ここ最近の青森ねぶた祭を見ていると、「以前に比べ盛り上がり欠けてきたのでは？」「祭りの主役である跳人の数が少なくなってきたのでは？」ということを感じます。青森ねぶた祭はその恩恵を求めあまり、祭り本来の姿から遠ざかってはいないでしょうか？

青森ねぶた祭は“誰でも自由に参加でき、見ず知らずでも、囃子とラッセラーの掛け声で、自発的に一緒になって盛り上がる”そんな素晴らしい祭りです。このままではその素晴らしい祭りが衰退してしまい、青森の固有の財産が失われてしまうのではないかと危惧をいただきます。

そこで、今年度ねぶた事業室では、「一燃えろ！跳人衆」という活動テーマを掲げ、心じゃわめぐ祭りの魅力を追求することにより青森市民が参加したくなるねぶた祭りを積極的に推し進めます。跳人が盛り上がらなければ「ねぶた」じゃない。すべての青森市民はねぶた祭りに参加して盛り上がりたいたいのだ！という理念のもと、全力で活動を行います。

そのことにより、祭りを取り巻く市民意識の向上に繋がり、これからの青森のまちづくり・ひとづくりに熱く貢献します。

事業報告

●ねぶたを用いたまちづくり事業

開催日：5月5日

開催場所：青森市昭和通り

参加員数：対外 200人／対内 45人

事業内容：会場（道路）全体を“跳人ブース”・来場者を“跳人”と見立てた空間づくりを行い、普段は体験出来ない道路からの眺めをゆっくりと楽しみねぶたを感じてもらうことで、今年のねぶた祭りに参加するきっかけの場となる「ねぶたCafe」の開催。

事業目的の実現報告：当日は、テーブルは終始満席でした。「一緒に跳ねよう！」と誘っても、恥ずかしさから、積極的に「跳ねる」ことはないのではと不安でしたが、ねぶたを自然な空気の中で感じる事ができ、そんな気持ちも薄らいだのでしょうか、多くの方々がハネトタイムを楽しんでいらっしゃいました。また、メッセージカードも好評で、多くの方にねぶた祭り参加の呼びかけができました。

●7月例会（ねぶた出陣式）

開催日：7月15日

開催場所：ホテル青森

参加員数：対外 39人／対内 19人

事業内容：第42回（社）青森青年会議所ねぶた出陣にあたり、安全祈願・関係者一同の意思統一を行う「ねぶた出陣式」を開催。

事業目的の実現報告：本年度は「青森市民が参加したくなるねぶた祭りの推進」を目指し、そ

の実現方法として、「燃えろ！跳人衆」というテーマで跳人を盛り上げる運行を目指すということとを今回の7月例会（出陣式）を通じ関係者一同に伝え、意思統一を図ることが出来た。

●青森ねぶた祭出陣事業

開催日：8月2日～7日

開催場所：青森市内

参加員数：対内 60人

事業内容：今年度42回目の出陣を行いました。本年度のねぶた実行委員会は、“青森市民が参加したくなるねぶた祭りを推進する”という基本方針の下、市民が参加しやすいという点から“跳人”にスポットを当てたねぶた運行を行いました。

事業目的の実現報告：本年度のねぶた事業は「燃えろ！跳人プロジェクト」と題し、ねぶた祭りへの跳人参加を促すにはどうしたらいいのか？ということを考え、会全体で取り組んだことで、基本方針である「あおもり市民が参加したくなるねぶた祭り」を実現することが出来た。

●8月例会（ねぶた討論会）

開催日：8月20日

開催場所：会議所会館

参加員数：対内 45人

事業内容：今年度の（社）青森青年会議所ねぶた運行を振り返り、これからの青森ねぶた祭について考える「ねぶた討論会」の開催。

事業目的の実現報告：本事業を開催するにあたり、今年度ねぶた運行に参加した方（跳人）から多くの意見をいただくことができました。その意見をもとにディベートを行い、今年度ねぶた運行をメンバー全員にあらためて考えていただけたことは、今後、青森青年会議所のより良いねぶた事業（まちづくり・ひとづくり）に繋がると思います。

【 公益社団法人特別室 】

基本方針

公益社団法人に移行するためには、現行の定款・諸規程と財務諸表、そして会計のあり方を、新しい制度に合わせて改めたうえで、事業の公益性や会計を適正に処理する能力、組織運営の透明性が担保されていること等を県に対して証明する必要があります。そうして公益社団法人への移行を実現させることは、私達の公益目的事業の持続発展に資することとなり、ひいては社団法人青森青年会議所を、故郷青森のために、より「役に立つ」組織へと進化させることに繋がります。これこそが公益社団法人移行の眼目なのです。

しかし私達は、公益社団法人に移行しても公益目的の一辺倒の活動を義務付けられる訳ではなく、

JC三信条に謳われている“修練”や“友情”を目的とした共益的活動もまた引き続き実施し得ることに留意しなければなりません。“修練”や“友情”こそは、私達が公益目的事業を推進する原動力となるものですし、会の大きな魅力でもあるからです。

公益社団法人への移行は会全体の課題であり、当特別室は室スタッフのみならず会全体でこの課題に取り組む機運を盛りあげるとともに、特別会員にもきちんとこの取り組みの内容を伝えます。

このようにして、当特別室は、連綿と受け継がれてきたJC三信条の理念や、社団法人青森青年会議所の独自の態様や魅力を損なうことなく公益社団法人への移行を果たし、“故郷青森のために、より「役に立つ」組織”の礎を築きます。

事業報告

●公益社団法人セミナー

開催日：3月27日

開催場所：JC会館2階大会議室

参加員数：対内 13人

事業内容：クイズ形式でこれまでの公益法人制度と公益社団法人制度の違いを、主に社団法人青森青年会議所に関わる部分で出題し、知識が曖昧な部分や、移行のメリットを効果的に学習し、知識を深め、移行への意識を高める。

事業目的の実現報告：公益社団法人移行に向けた会員の意識高揚と、会員が特別会員や外部協力者に対して移行に関する情報を正しく伝えることができるようにすることを目的としたが、理事以外の参加者は1名のみであり、事業目的は実現出来なかった。

●特別会員を対象とした公益社団法人移行に関する説明会

開催日：9月18日、10月2日

開催場所：JC会館2階大会議室

参加員数：対外 3人／対内 10人

事業内容：公益社団法人に移行しても、これまでと別物の組織になってしまうのではなく、修練や友情の精神（JC三信条）をこれからも守りつづけるということと、基金や特別会員会規約の変更等、特別会員に関わりの深い規定の変更とについて理解していただく。

事業目的の実現報告：当説明会を通して公益社団法人移行の趣旨を特別会員と共有し、円滑な移行に資することが目的であったが、実際には参加された特別会員は少なく事業目的が実現されたとは言えない。しかし先輩方への声かけを通して、概ね移行に対する趣旨にご理解をいただい

ていることを感じた。

●定款・諸規程の見直し

開催日：11月24日

開催場所：JC会館2階大会議室

参加員数：対内 59人

事業内容：公益事業を適正に実施し得る根本規則を作成し、公益社団法人移行認定申請時に添付する。

事業目的の実現報告：臨時総会の場において、2010年度定款・諸規程変更（案）承認の件、公益社団法人青森青年会議所 新定款・規程（案）承認の件を諮り、全会一致の議決を経ることができたことから、事業目的を実現することが出来た。

●公益社団法人移行後の運営の研究

開催日：12月22日

開催場所：JC会館2階大会議室

参加員数：対内 15人

事業内容：新定款・諸規程の内容確認、旧基金に関する確認、会計処理に関する確認（会計セミナー）、次年度監査の方法の意見交換を行う。

事業目的の実現報告：2010年度の会の運営を担う会員の出席を得て、新定款・諸規程、基金の処理、委員会会計について留意点を確認することが出来た。また委員会会計と会計監査のあり方について活発な意見交換があり、移行後の運営について会員の理解を深めることが出来た。